

# Intersection problems in the $q$ -ary cube

徳重 典英

琉球大学

離散数学とその応用研究集会 2015  
2015 年 8 月 22 日@熊本大学

この講演は Peter Frankl 氏との共同研究に基づくものです。

## ベクトルに対応するカード

例:  $\mathbf{a} = (2, 1, 0, 3) = (a_1, a_2, a_3, a_4)$ .

			●
●			●
●	●		●

第 $i$ 列に、下から $a_i$ 個の黒丸を書く。

## ベクトルに対応するカード

例:  $\mathbf{a} = (2, 1, 0, 3) = (a_1, a_2, a_3, a_4)$ .

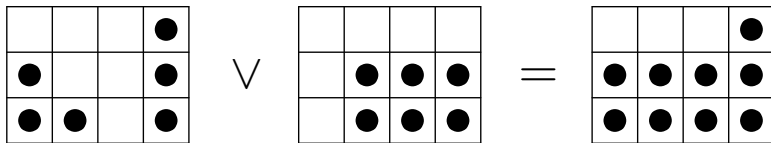
			●
●			●
●	●		●

第 $i$ 列に、下から $a_i$ 個の黒丸を書く。

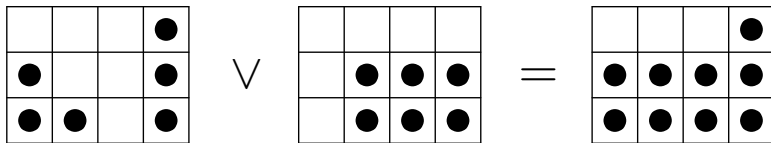
$\mathbf{a}$ の重み:

$$|\mathbf{a}| := (\text{黒丸の総数}) = 2 + 1 + 0 + 3 = 6$$

# Join (union)



## Join (union)



$$(2, 1, 0, 3) \vee (0, 2, 2, 2) = (2, 2, 2, 3).$$

$$(\mathbf{a} \vee \mathbf{b})_i = \max\{a_i, b_i\}.$$

正整数  $n, k, q$  に対して、

$$X_q := \{0, 1, \dots, q - 1\},$$

$$\begin{aligned} X_q^n &:= \{a = (a_1, \dots, a_n) : a_1, \dots, a_n \in X_q\} \\ &= q - 1 \text{ 行 } n \text{ 列の黒丸つきカード全体。} \\ &\quad (q\text{-ary } n\text{-cube}) \end{aligned}$$

正整数  $n, k, q$  に対して、

$$X_q := \{0, 1, \dots, q-1\},$$

$$\begin{aligned} X_q^n &:= \{a = (a_1, \dots, a_n) : a_1, \dots, a_n \in X_q\} \\ &= q-1 \text{ 行 } n \text{ 列の黒丸つきカード全体。} \\ &\quad (q\text{-ary } n\text{-cube}) \end{aligned}$$

もし  $q = 2$  なら、

$$X_2^n = \{0, 1\}^n \cong 2^{[n]}$$

正整数  $n, k, q$  に対して、

$$X_q := \{0, 1, \dots, q-1\},$$

$$\begin{aligned} X_q^n &:= \{a = (a_1, \dots, a_n) : a_1, \dots, a_n \in X_q\} \\ &= q-1 \text{ 行 } n \text{ 列の黒丸つきカード全体。} \\ &\quad (q\text{-ary } n\text{-cube}) \end{aligned}$$

もし  $q = 2$  なら、

$$X_2^n = \{0, 1\}^n \cong 2^{[n]}$$

(cf. Adachi–Nozaki  $\{0, \pm 1\}^n \subset \mathbb{R}^n$ )



整数  $q \geq 2$  と  $s \geq 1$  を固定。

$A \subset X_q^n$  が  $s$ -union とは、

$$|a \vee b| \leq s \text{ for all } a, b \in A.$$

整数  $q \geq 2$  と  $s \geq 1$  を固定。

$A \subset X_q^n$  が  $s$ -union とは、

$$|a \vee b| \leq s \text{ for all } a, b \in A.$$

## 問題

次の関数を求めよ。

$$w_q^n(s) := \max\{|A| : A \subset X_q^n \text{ は } s\text{-union}\}$$

$w_q^n(s)$  についてわかっていること。

- $q = 2$  の場合。Katona の定理。

$w_q^n(s)$  についてわかっていること。

- $q = 2$  の場合。Katona の定理。
- $n > n_0(s, q)$  の場合。
- $(q - 1)n = s + 1$  の場合。

$w_q^n(s)$  についてわかっていること。

- $q = 2$  の場合。Katona の定理。
- $n > n_0(s, q)$  の場合。
- $(q - 1)n = s + 1$  の場合。
- $n = 3, q \geq s$  の場合。 ← 今日の話題

# 復習

$$w_q^n(s) = \max\{|A| : A \subset X_q^n \text{ は } s\text{-union}\}.$$

( $s$ -union  $\iff |\mathbf{a} \vee \mathbf{b}| \leq s$  for all  $\mathbf{a}, \mathbf{b} \in A$ .)

# 復習

$$w_q^n(s) = \max\{|A| : A \subset X_q^n \text{ は } s\text{-union}\}.$$

( $s$ -union  $\iff |\mathbf{a} \vee \mathbf{b}| \leq s$  for all  $\mathbf{a}, \mathbf{b} \in A$ .)

以下、 $q$ は十分大きいと仮定。 $(q \geq s)$

$w_q^n(s)$ を $w^n(s)$ ,  $X_q^n$ を $X^n$ と略記。

# 復習

$$w_q^n(s) = \max\{|A| : A \subset X_q^n \text{ は } s\text{-union}\}.$$

( $s$ -union  $\iff |\mathbf{a} \vee \mathbf{b}| \leq s$  for all  $\mathbf{a}, \mathbf{b} \in A$ .)

以下、 $q$ は十分大きいと仮定。 $(q \geq s)$

$w_q^n(s)$ を $w^n(s)$ ,  $X_q^n$ を $X^n$ と略記。

$n = 3$ の場合を考える。

## 問題

$w^3(s)$ を求めよ。



その前に練習

$w^2(5)$  は?

## その前に練習

$w^2(5)$  は?

$$w^2(5) \geq 4 \times 3 = 12.$$

●	
●	●
●	●

## その前に練習

$w^2(5)$  は?

$$w^2(5) \geq 4 \times 3 = 12.$$

●	
●	●
●	●

$a = (3, 2)$  の部分カード全体。

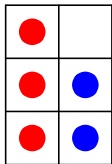
( $a \succ b$  if  $a_i \geq b_i$  for all  $i$ .)

$4 \times 3 = 12$  枚のカードがある。

## 練習

$$w^2(s) \geq \lceil \frac{s}{2} + 1 \rceil \lfloor \frac{s}{2} + 1 \rfloor.$$

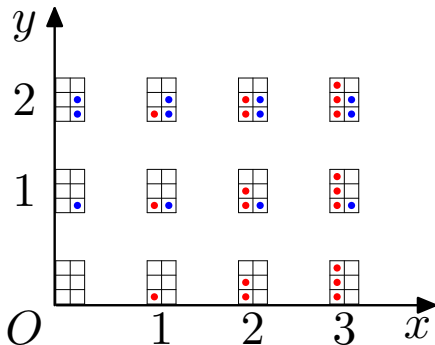
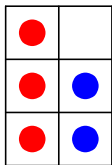
例:  $w^2(5) \geq 4 \times 3 = 12$ .



# 練習

$$w^2(s) \geq \lceil \frac{s}{2} + 1 \rceil \lfloor \frac{s}{2} + 1 \rfloor.$$

例:  $w^2(5) \geq 4 \times 3 = 12$ .



## 練習

$$w^2(s) \leq \lceil \frac{s}{2} + 1 \rceil \lfloor \frac{s}{2} + 1 \rfloor.$$

## 練習

$$w^2(s) \leq \lceil \frac{s}{2} + 1 \rceil \lfloor \frac{s}{2} + 1 \rfloor.$$

$A \subset X^2$  を  $s$ -union とし、

$$m := \max\{x : (x, y) \in A\}.$$

## 練習

$$w^2(s) \leq \lceil \frac{s}{2} + 1 \rceil \lfloor \frac{s}{2} + 1 \rfloor.$$

$A \subset X^2$  を  $s$ -union とし、

$$m := \max\{x : (x, y) \in A\}.$$

もし  $(x, y) \in A$  なら

$$0 \leq x \leq m, \quad (m \text{ の定義から})$$

$$0 \leq y \leq s - m. \quad (s\text{-union の性質})$$



## 練習

$$w^2(s) \leq \left\lceil \frac{s}{2} + 1 \right\rceil \left\lfloor \frac{s}{2} + 1 \right\rfloor.$$

$A \subset X^2$  を  $s$ -union とし、

$$m := \max\{x : (x, y) \in A\}.$$

もし  $(x, y) \in A$  なら

$$0 \leq x \leq m, \quad (m \text{ の定義から})$$

$$0 \leq y \leq s - m. \quad (s\text{-union の性質})$$

従って

$$|A| \leq (m + 1)(s - m + 1) \leq \left\lceil \frac{s}{2} + 1 \right\rceil \left\lfloor \frac{s}{2} + 1 \right\rfloor.$$

## 問題

$w^3(10)$  を求めよ。

## 問題

$w^3(10)$  を求めよ。

●		
●		●
●		●
●	●	●

3列（天井なし）カードをうまく選んで、どの2枚のjoin (V) も重み10以下にする。最大で何枚のカードを選べるか？

## 問題

$w^3(10)$  を求めよ。

●		
●	●	●
●	●	●
●	●	●

## 問題

$w^3(10)$  を求めよ。

●		
●	●	●
●	●	●
●	●	●

$a = (4, 3, 3)$  の部分カード全体。

( $a \succ b$  if  $a_i \geq b_i$  for all  $i$ .)

$5 \times 4 \times 4 = 80$  枚のカード。

答

$$w^3(10) = 91$$

●	●	●
●	●	●
●	●	●

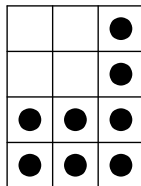
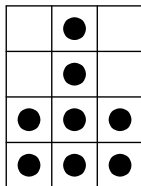
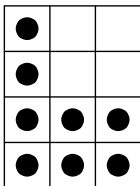
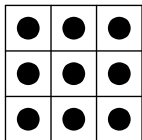
●		
●		
●	●	●
●	●	●

	●	
	●	
●	●	●
●	●	●

		●
		●
●	●	●
●	●	●

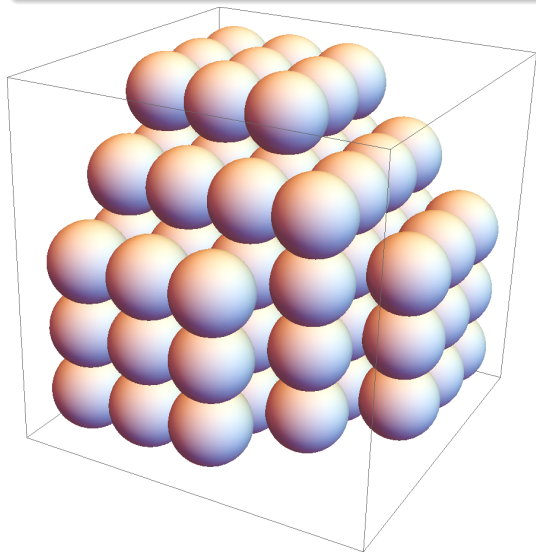
答

$$w^3(10) = 91$$



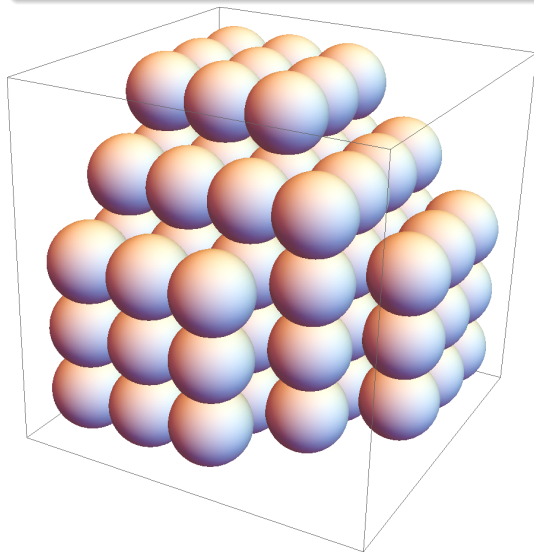
$$4^3 + 3^2 + 3^2 + 3^2 = 91$$

91 枚のカードを三次元的に描く。





91 枚のカードを三次元的に描く。



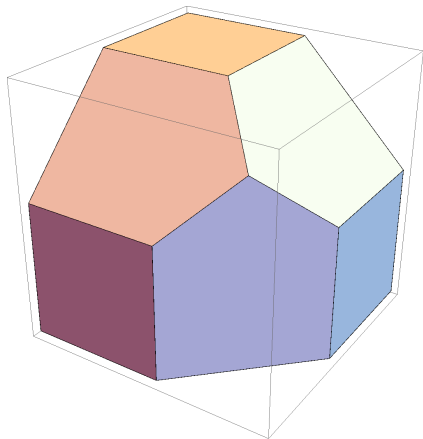
●	●	●
●	●	●
●	●	●

●		
●		
●	●	●
●	●	●

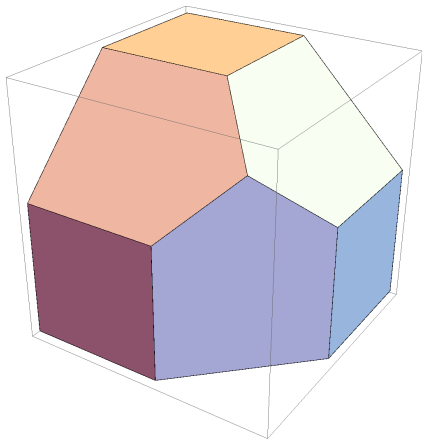
	●	
	●	
●	●	●
●	●	●

		●
		●
●	●	●
●	●	●

$$4^3 + 3^2 + 3^2 + 3^2 = 91$$

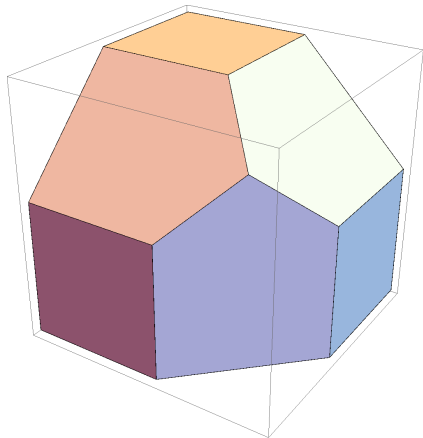


## 極限の形



## 極限の形

多面体の体積から  
 $w^3(s)$  を近似できる。



## 極限の形

多面体の体積から  
 $w^3(s)$  を近似できる。

## 定理

$$w^3(s) = \frac{33 + 8\sqrt{2}}{961} s^3 + O(s^2).$$

今回、得られた結果

- $w^3(s)$  を決定した。

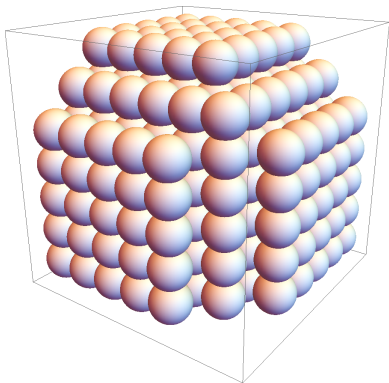
## 今回、得られた結果

- $w^3(s)$  を決定した。
- $w^3(s)$  を与える  $s$ -union の族も決定した。

## 今回、得られた結果

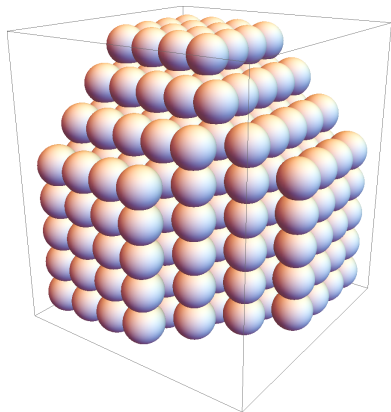
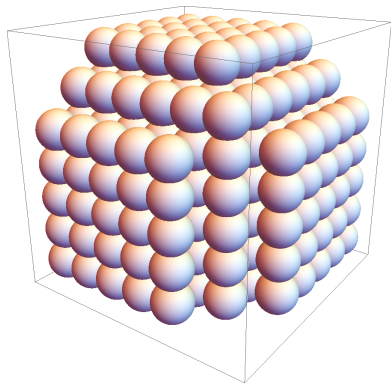
- $w^3(s)$  を決定した。
- $w^3(s)$  を与える  $s$ -union の族も決定した。
- その族は、各  $s$  について高々 2 種類。

例： $w^3(16) = 291$

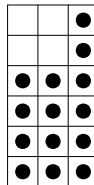
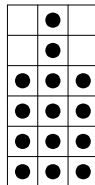
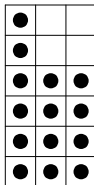
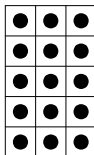
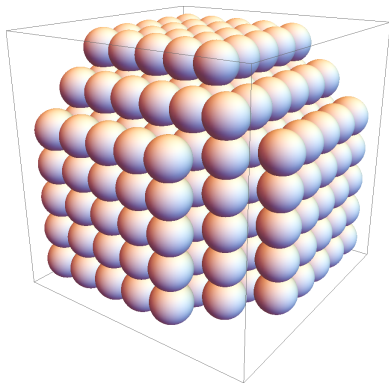




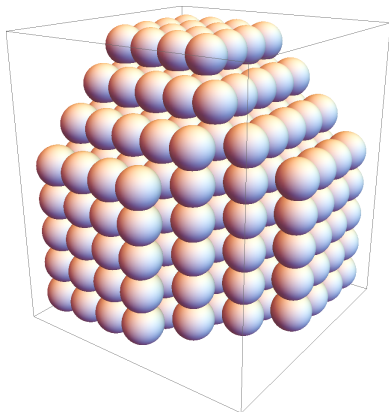
例： $w^3(16) = 291$



$$w^3(16) = 291$$



$$w^3(16) = 291$$



●		●
●	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●

	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●

		●
		●
●	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●

●		
●		
●		●
●	●	●
●	●	●
●	●	●

	●	
	●	
	●	●
●	●	●
●	●	●
●	●	●

		●
		●
		●
		●
●	●	●
●	●	●
●	●	●